

(別記)

令和元年度小牧市地域農業再生協議会水田フル活用ビジョン

1 地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

現在、水田は市内の耕地の約半分を占め、米は本市の中心的な作物であり、戦略作物では加工用米、飼料用米が定着しつつある。

地域振興作物では、水田を活用して、野菜、景観形成作物（れんげ、菜の花等）を中心に生産されている。

しかしながら、担い手が不足しており、耕作放棄地が点在している。

2 作物ごとの取組方針等

(1) 主食用米

「売れる米づくり」を目指すため、作付品種を「あいちのかおり」に集約する。しかし、食生活の多様化等により今後も米の消費量低下が予想されるため、消費者ニーズに応える減農薬・減化学肥料栽培など安全安心なお米を目指すとともに魅力的な米の生産をするため農業者、農業者団体・小牧市が共同して、

- ① 受託水田の集約化
- ② 乾田直播による繁忙期の分散化
- ③ 低コスト技術の推進
- ④ 種子更新の推進
- ⑤ 品種適正配分

により地域稲作の効率的な運営を進める。

(2) 非主食用米

新規需要米が期待されている中で、すでに出荷実績のある加工用米を引き続き振興しながら、主食用米の作付けを抑制していく。加工用米で調整が対応できない場合は、飼料用米を振興していく。令和2年度には加工用米は20.0haの生産を目指す。

(3) 高収益作物（園芸作物等）

野菜について地域振興作物とし、重点品目について引き続き振興していく。

3 作物ごとの作付予定面積

作物	前年度の作付面積 (ha)	当年度の作付予定面積 (ha)	2020年度の作付目標面積 (ha)
主食用米	406	405	404
飼料用米	1.6	2	3
米粉用米			
新市場開拓用米			
WCS用稲			
加工用米	19	19	20
備蓄米	11	11	11
麦			
大豆			
飼料作物			
そば			
なたね			
その他地域振興作物	8	9	9
野菜	8	9	9
・			
・			
・			

4 課題解決に向けた取組及び目標

整理 番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）		目標値
1	野菜	高収益作物（野菜） の取組	作付面積	(30年度) 0.7ha	(2020年度) 1.0ha	
2	飼料用米・ 加工用米	飼料用米・加工用米 の取組	飼料用米取組面積	(30年度) 1.57ha	(2020年度) 3.0ha	
			加工用米取組面積	(30年度) 18.80ha	(2020年度) 20.0ha	
			計	(30年度) 20.37ha	(2020年度) 23.0ha	

※ 必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。

※ 目標期間は3年以内としてください。

5 産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり